

教育入院と糖尿病教室で 血糖値をコントロール

Educational admission & Diabetes education in OPD

最近新規糖尿病治療薬が次々と発売され、糖尿病の治療が行いやすくなったとはいえ、食事療法・運動療法抜きでは血糖コントロールを良好に保つのは難しいのが現状です。さらに薬物療法に関しても、内服時間・内服時の注意（SGLT2阻害薬の水分摂取など）・シックデイの対応など服薬指導も非常に重要であり、糖尿病教育が欠かせないのは明らかです

一方厚生労働省の「2012年国民健康・栄養調査結果」の推計によると糖尿病が強く疑われる方は950万人と5年間で60万人増加しております。

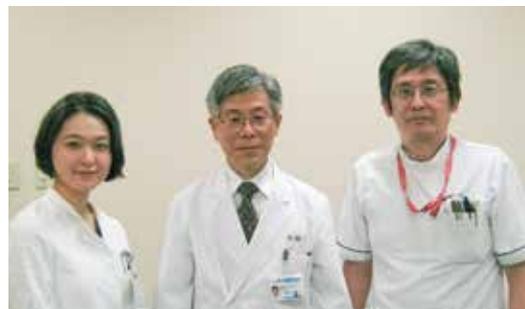
山梨県内の糖尿病患者さんの数も9万人程ではないかと推定されています。従って、増え続ける糖尿病にしっかりと治療を行っていくためには病診連携が不可欠です。今回は当院における糖尿病診療の紹介をさせていただきます。

CHECK 1

入院診療 Educational admission

当院の糖尿病教育入院

- ① クリニカルパスを使用した1週間コース
- ② クリニカルパスを使用した2週間コース
- ③ 糖尿病性腎症の教育コース
- ④ 合併症治療（2-3週間）
- ⑤ 術前血糖コントロール（1-2週間）



医師 井口 楓 副院長 祢津 光廣 科長 井上 正晴

糖尿病の教育入院患者さんは毎年100人程度です。クリニカルパスを使用した2週間コースを中心に病状・都合に応じて5種類の入院を行っております。

最近は糖尿病患者さんの高齢化とともに、感染症などの合併症治療や、血糖高値で手術ができない場合にインスリンで術前コントロールを行う患者さんも増えております。

これらの入院には糖尿病専門医だけでなく、地域連携センターの保健師・病棟看護師をはじめ栄養管理科の管理栄養士・検査部の検査技師・薬剤部の薬剤師・リハビリテーション科の理学療法士（多くが日本糖尿病療養指導士の資格をもっております。）が教育、治療に参加しております。

糖尿病の合併症の診断と治療は、眼科、腎臓内科、循環器内科、泌尿器科などとの緊密な連携のもと行っております。

さらに退院後のアフターケアとして「糖尿病の集い」を開催し患者さんの情報交換、退院後の生活や悩みの相談を行い、退院後もコントロールが維持されるよう考えております。また1型糖尿病の患者さんには「1型糖尿病患者の会」を開催し情報交換や悩みの解決などでコントロールの改善が図れるよう計画しております。

外来における糖尿病教育 Diabetes education in OPD



個別指導

地域連携センターの保健師3人および栄養管理科の管理栄養士4人による個別指導を毎日行っております。予約なしで対応できるような体制ですので、その日にインスリン導入を行うことも可能です。

水曜日だけですが、専門看護師によるフットケア外来を開催しております。

集団教育

各スタッフの協力のもと「糖尿病教室」(毎週火曜日、3回、1クール)を行っております。

また11月の糖尿病週間には当院糖尿病療養指導士会を中心にイベントの開催を行い、糖尿病の啓蒙活動も行っています。

糖尿病教室のお知らせ

山梨県立中央病院では、糖尿病の患者さんが病気について理解を深め、血糖コントロールをよくし、有意義な人生を送ることができるように糖尿病教室を開催しております。

3回を1コースとして糖尿病の基礎知識から食事療法、日常生活管理まで学べるように計画いたしました。

日時 : 毎月 第1～第3 火曜日 / 午後2時～午後4時

* 祝日はお休みとさせていただきます。

場所 : 山梨県立中央病院1階 地域連携センター内 小集団教室

対象 : 糖尿病患者さんおよびご家族の方・関心のある方

費用 : 無 料

* 各月によって内容は多少変更します。

内容		
第1火曜日	糖尿病についての基礎知識	医 師
	糖尿病患者さんの日常生活管理	保 健 師
第2火曜日	食事療法について	管 理 栄 養 士
第3火曜日	薬物療法について	薬 剤 師
	糖尿病の検査について	臨 床 検 査 技 師

問い合わせ: 山梨県立中央病院 地域連携センター

TEL 055-253-7111 内線 1232・1233

山梨県の糖尿病患者さんが元気で長生きできるよう、かかりつけ医の先生とともに協力しながら診療にあたりたいと考えております。



第2回 地域連携研修会を開催しました

地域連携
研修会

H26年度 第2回

2014.8.28



平成26年8月28日(木)、当院多目的ホールにおいて、今年度第2回目の地域連携研修会を開催しました。

当地域連携センター統括部長の消化器内科小嶋裕一郎医師が、「消化管腫瘍・内視鏡的粘膜下層剥離術の現状と地域連携について～かかりつけ医の推進にむけて～」と題して講演しました。院外より21名の医師、看護師が、院内からは21名の職員が出席しました。

当院の内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の現状や他院との比較、胃がんパスの内容についての講演でした。また、医事課より胃がんパスの事務的な内容の説明を行いました。

当院の「はやくきれいに治す」のモットーに基づき、胃ESDの入院期間は原則5日で実施していること、今後は地域連携パスを活用し地域の医療機関への積極的な患者様の紹介(いわゆる逆紹介)を推進していることを紹介しました。

平成26年11月21日に 第3回 研修会 を開催しました。詳細は次号掲載予定です。

研修会の情報はホームページでもご案内しています。併せてご覧下さい。
<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

次回研修会のご案内

当地域連携センターでは院内・院外に向けた連携のための研修会を今後も定期的に開催させていただきたいと考えております。その都度ご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

次回は▶ 平成26年2月を予定しています

場所：山梨県立中央病院 2F 多目的ホール

甲府市富士見1-1-1 055-253-7111

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1

かかりつけの 医院を受診

紹介状をもらってください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00~17:00 月~金(祝祭日除く)

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)